



清心道中金持尊難
三

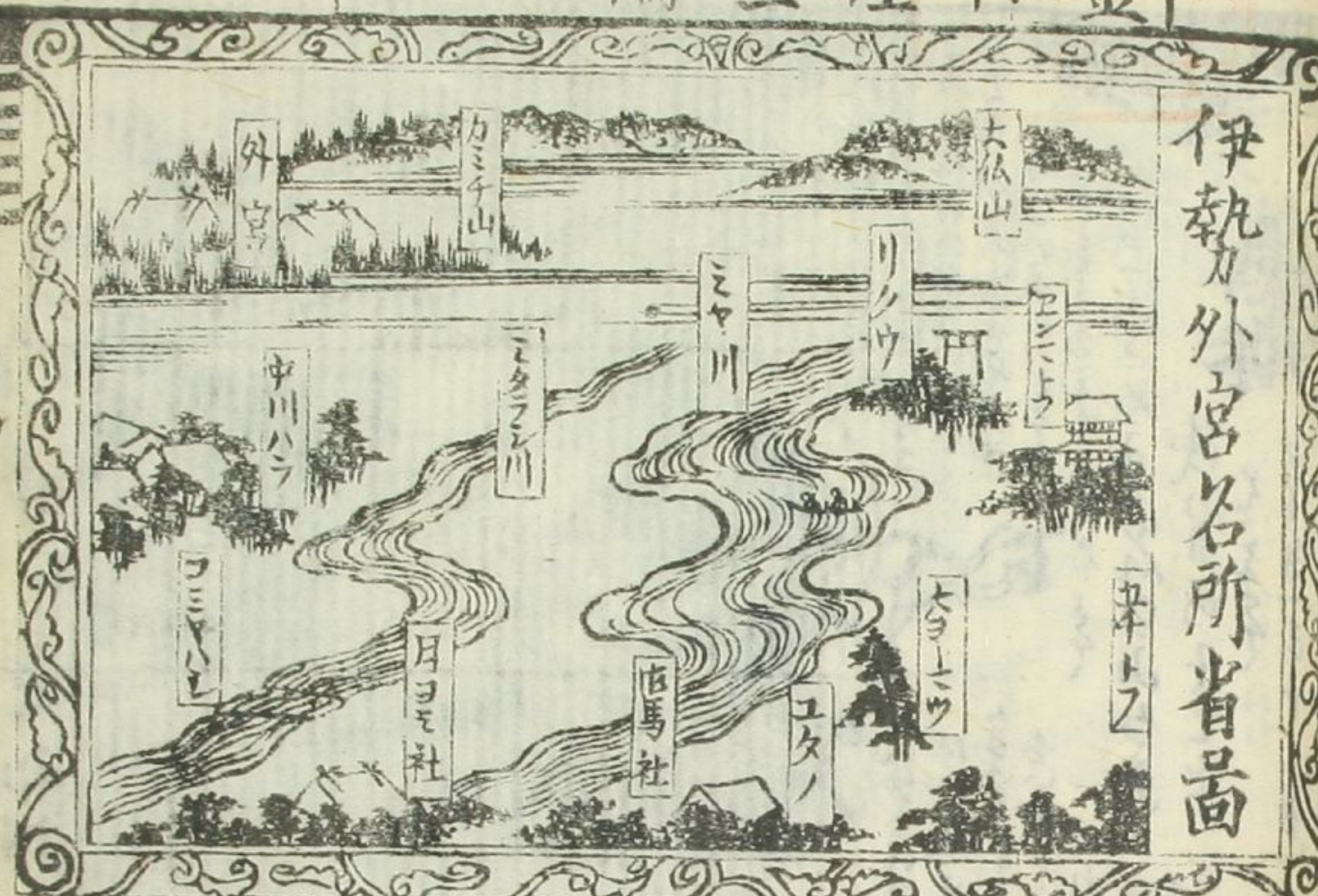
京けんろ

逍遙文庫
文庫 6
1004
3



3

伊勢外宮名所省圖



方言抄行金の草鞋と欲して花
 狂士と云うが東都行時のおどお編み
 紀をいふ今又伊勢力と云ふはう大坂
 見物と云ふは地へて東海を渡り各所
 名物の清浄をいふて城はまきくは
 從四條よりうへ六条路中流ぬるを
 都を帷帳と云ふの冊子おれを悉く述
 ぶに只孝家のお眠は遠く一言句
 の方言と云て風景のよふかづるを已

十返舎一九誌



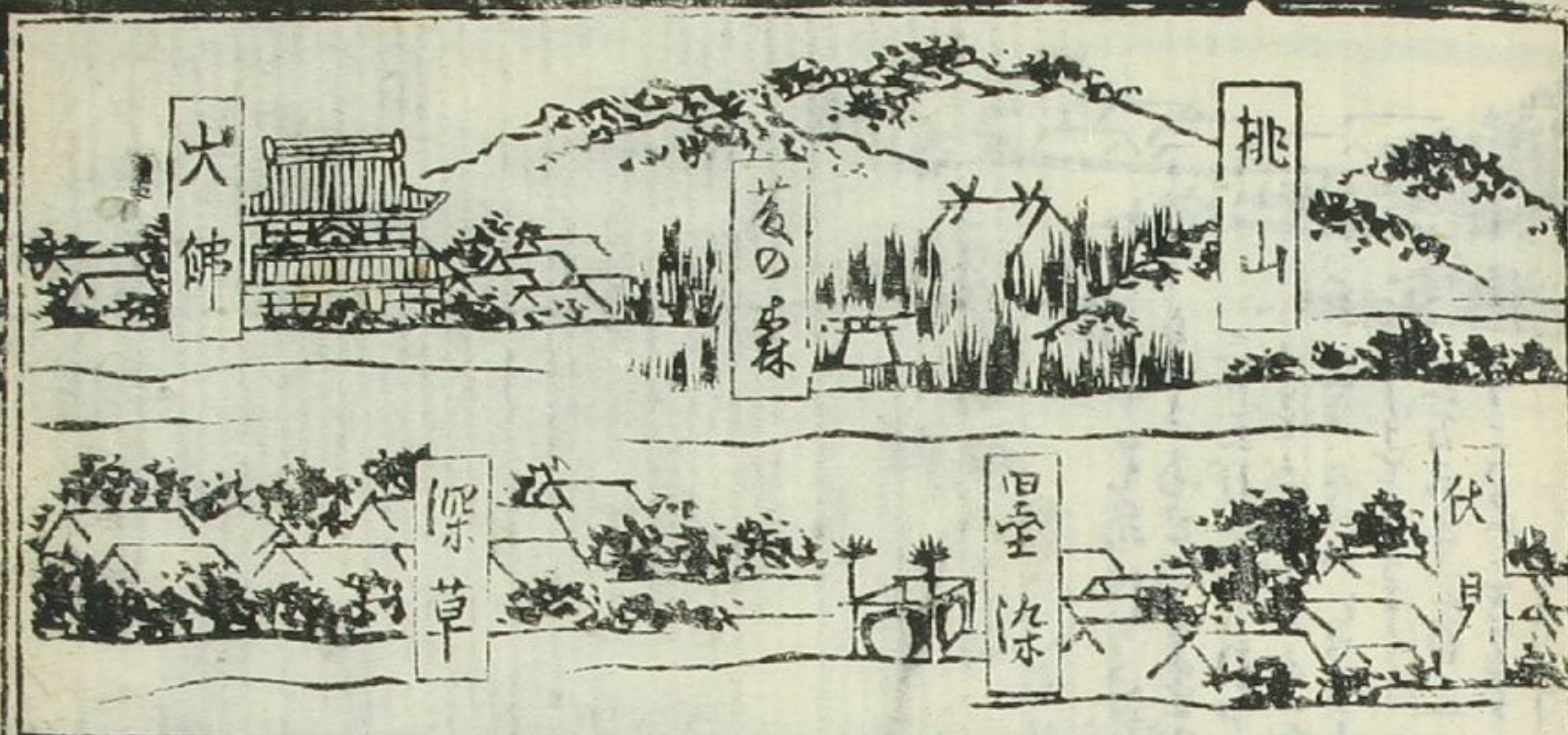
馬喰町二丁目
書店錦木

錦木林堂藏



あいのやま





方言 妙後の竹鞋
 終行 千里獨行雲水侶
 記事 韜函頭陀囊
 ちくちくの
 あふふふ
 うねのうね
 まるまる
 真品
 千久羅坊
 世傳は京中内外の名
 所旧本ありては能の
 あまうやうては能の
 後景小ては能の
 かにとては能の
 中よるふとては能の

木上堂森錦

大坂の名所とていふべきであらうしはて
 この次々角うとて見ぬのうとて
 おうふとて金銀のうとて

月磨萬



十返舎一九戯作

大坂の
 あふふ
 三石出物
 月磨萬
 大坂の名所とていふべきであらうしはて
 この次々角うとて見ぬのうとて
 おうふとて金銀のうとて

五

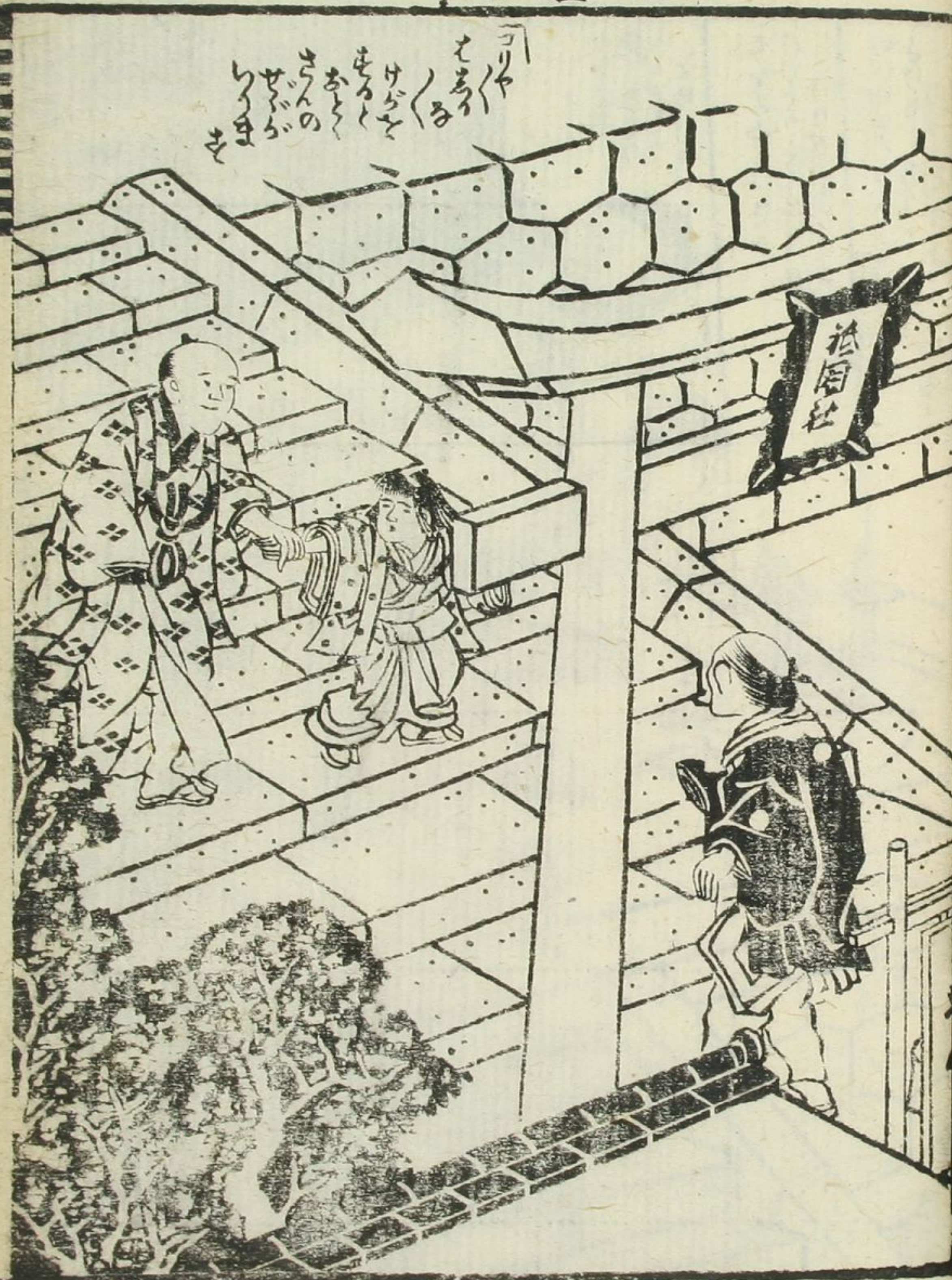
清 水 觀 音

[illegible]

「どうしてあくと女がまる
うろたつて居るがさういふことを

あつさんていしちんか
あいのうんかかけて
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと

社園抵

[illegible][illegible]

寺明光谷黒



あつた日三すうのちとてあらん
あいの人をこのさうちほれて
まことあいのこ
てくころあはれ
まがかりあひの
かりのちやよ
まのりころよ
このあひの
いふあはれ
てゆけいあひの
あひさなまこと
こころとくふく
わたりあひ
かみのすし
おきてあひ
ねぎもご
より神の
ひろまる

「東の
うしろ
あへても
ろくあり
なかまら
えんご
ふゆべ
やみ
しらぬ
でん
あいのち
あ

[illegible]

はりすやそのあまなりやと
ようづやのわはるいもろぞう
むぞうのあつさうぜいの
せふつがうそまん三千二百
三十三りんけんかきくしの
いこてひびくせまつたえん
の大もんよそそ

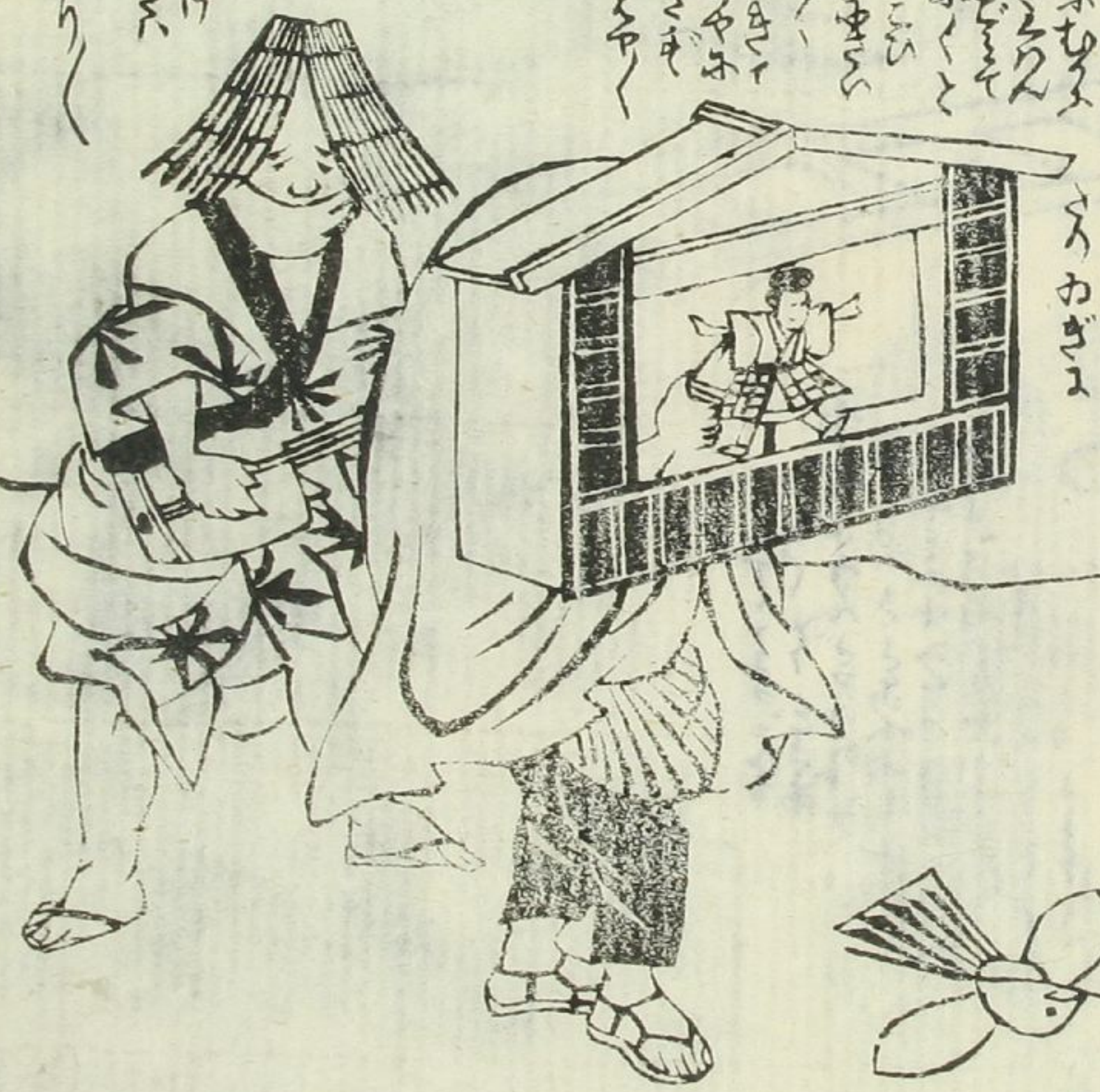


一、それるがむのくくと
 いふまじ
 かまひ
 もつて
 おひで
 ふふふ
 志むいふ
 さふら
 まふ

かつてとんきうせんのかせうもまけ
 これもてんひあんせんせうたんまの
 せうくうくうわむえ
 せうくくくくやん
 せんきてちあんごそ
 かんくうんくうくと
 せんあごのくく
 かんていせんせう
 せんせうせん
 あごくせんせん
 せんくくくく
 せんくくく
 かんくくく



かんくく



このところ
ひんやりまひ
ふもくがうせんくけ
さびのぶんつきん
まもせき
えどやりく



金草鞋大尾

京見下

六十

三つ見物の僧 稽東都六冊
 京大極も三冊 不始出牙有る
 終東海道之記 引續キ美事

月磨画



このやうに
 三つ見物の僧
 稽東都六冊
 京大極も三冊
 不始出牙有る
 終東海道之記
 引續キ美事

十返舎一九編

早稲田大学図書館

011688991821